

大阪国際サイエンスクラブ – 見学会 –

## 「近畿大学水産研究所白浜実験場」見学のご案内 ～最先端の水産研究と、その産業化を学ぶ～

International  
Science Club  
of Osaka



1948年に開設された歴史ある白浜実験場は、日本の水産養殖のパイオニアです。1954年にはハマチ（ブリ）の網生簀養殖研究に着手し、わずか2年後には長期飼育に成功しました。その後、マダイ、カンパチ、シマアジなどの「完全養殖」を次々と実現してきました。親魚まで育てて採卵し、人工孵化させて成魚まで育成する、いわゆる「完全養殖」の研究を進めてきた拠点です。特にマダイは、50年以上、10世代にわたる選抜育種により、成長速度を約2倍に高めることに成功しています。

現在も海面網生簀と陸上種苗生産施設を拠点に、飼育・魚病・育種の3研究室が連携しています。飼育研究室では養殖・種苗生産技術および新養殖魚の開発を、魚病研究室ではウイルス・細菌および寄生虫感染症の治療や予防方法の開発を、育種研究室では全ゲノム解析データの活用やゲノム編集技術の応用など、新しい品種改良法を開発を行っています。水産養殖の未来を拓く最先端の研究が進められている現場をご覧ください。

今回の見学会では、**近畿大学水産研究所長（教授）家戸 敬太郎先生**から直々にご講義いただいた後、展示室（世界最長記録の23年間養成したクロマグロのはく製など）や出荷待機イケスなどで、マダイやシマアジなどの飼育魚をご覧ください。日本の養殖産業が抱える多くの課題の解決に導くサイエンスに触れられる絶好の機会です。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

記

◇日時：2026年7月31日（金）12：50（JR白浜駅集合）

電車で来られる方は**10：13新大阪発 12：46白浜着のくろしお7号**がお勧めです。

◇スケジュール

12：50 JR白浜駅前集合

13：10 白浜駅バス停 発

↓ 明光バス

13：17 寒サ浦バス停 着

↓ 徒歩

13：20 白浜実験場 到着

↓

13：30 見学開始 ご挨拶、家戸敬太郎先生ご講義、施設見学

↓

15：00 見学終了、一次解散

**オプションツアー：魚を見学したあとに、美味しいお魚を食して帰りませんか？**

↓ 移動 明光バス

15：30 懇親会（とりとれ市場内のとれとれ横丁）

17：07 移動

↓ 明光バス

17：12 白浜駅 二次解散（17：20発 くろしお32号 新大阪行き）

◇場 所：近畿大学水産研究所白浜実験場

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3153 [近畿大学水産研究所](#) | [近畿大学](#)

◇参加定員：20名（先着順）

◇参加費：1,000円（手土産代等）、**交通費ならびに懇親会費は各自ご負担願います。**

◇参加申込：下記の申込書欄の必要事項について、e-mailにてお申し込み下さい。

◇申込締切：2026年7月29日(水) 定員になり次第締め切らせて頂きます

◇問い合わせ先：大阪国際サイエンスクラブ 事務局 まで

TEL:06-6441-0458 e-mail: science@isco.gr.jp

当日の連絡先：090-6674-1872（丹羽）、090-4033-3816（村瀬）

◇関連施設 URL：

[白浜実験場](#) | [近畿大学](#)

[白浜](#) | [路線バス](#) | [明光バス株式会社](#)

[とれとれ市場 - 食事コーナー](#) | [漁協直営の海産物と、紀州の特産品が購入でき、BBQも楽しめます。](#)

◇参加申込み 下記にご記入頂き e-mailにてお申込みください

|       | お名前  | ご所属          | e-mail   | 懇親会参加 有無 |
|-------|------|--------------|--|----------|
| 記入例   | 国際太郎 | 大阪国際サイエンスクラブ | <a href="mailto:taro@isco.or.jp">taro@isco.or.jp</a> | 有        |
| 参加者 1 |      |              |  |          |
| 参加者 2 |      |              |  |          |
| 参加者 3 |      |              |  |          |